

第11回

土気踏切勉強会

■これまでの経緯（振り返り）

- ① R6.3説明会での質問回答・ご意見
- ② 周辺道路の整備検討の進捗報告（千葉市）
- ③ 踏切存続期間中の安全対策（JR）
- ④ 今後の進め方（勉強会のあり方）

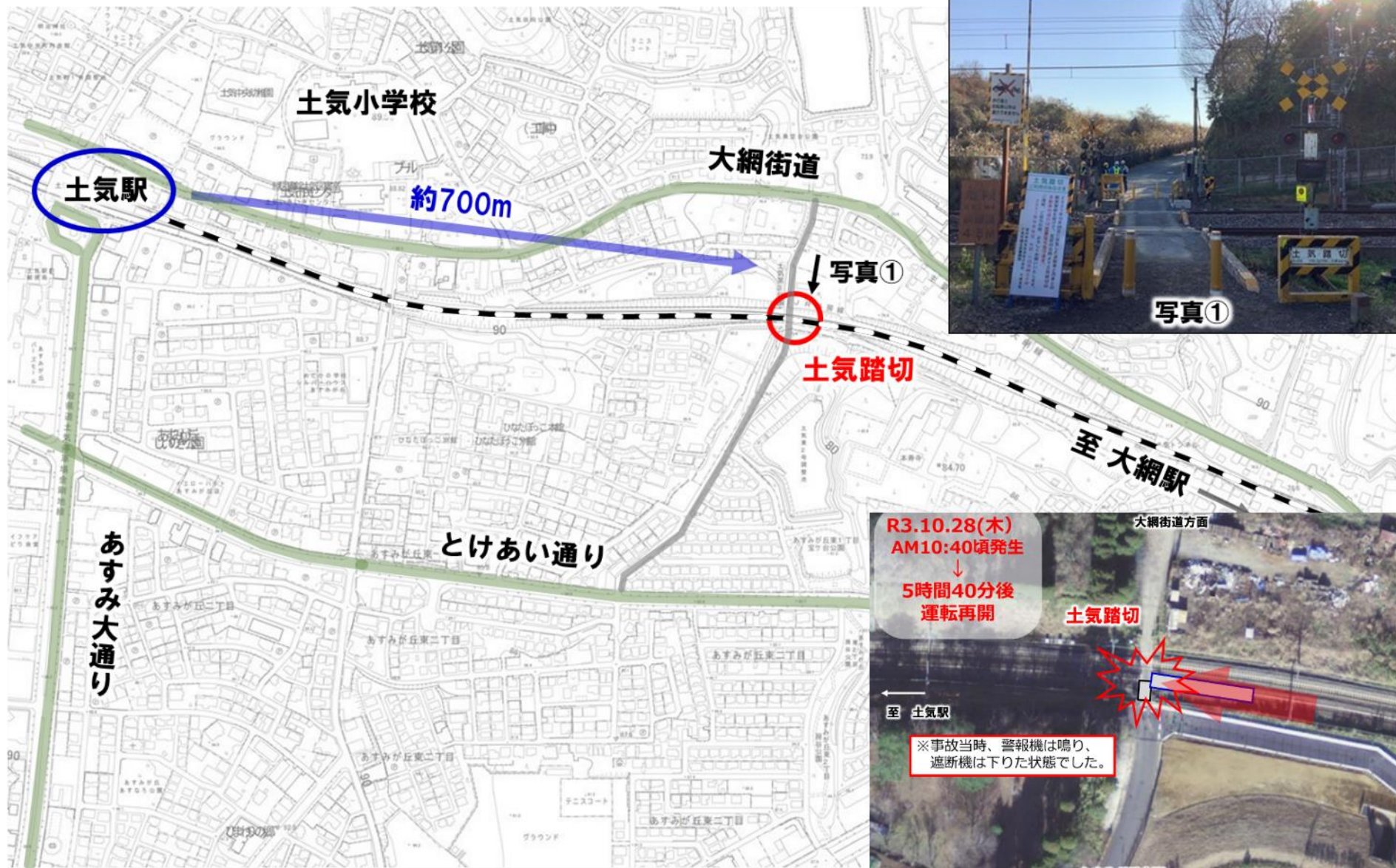
令和6年8月8日（木）

土気公民館

 千葉市  千葉支社



■これまでの経緯（振り返り） （踏切位置と事故概要について）



■これまでの経緯（振り返り） （「踏切」の課題）

①視認性（見通し距離）の課題

②踏切勾配（起伏あり）の課題



■これまでの経緯（振り返り） （事故発生からこれまで）

年月日	内容
R3.10.28(木)	事故発生 10時40分頃発生 運転再開 15時
R3.11.16(火)	交通量調査実施
R3.12.16(木)	車両通行止めポール （規制杭）設置
R4.4.10(日) 4.25(月)	地元説明会開催 1回目
R4.5月末時点で 踏切廃止を 予定していたが、一旦延期	
R4.5.29(日)	交通量調査実施
R4.6.2(木)	土気踏切勉強会をスタート （経歴は、別の表に整理）
R4.6.24(金)	特設掲示板の設置

R4.10.15(土) 10.31(月)	交通量調査＆聞き取り調査を実施
R5.2.7(火)	地元の方が市議会へ「土気踏切存続に関する陳情書」を提出
R5.3.2(木)	陳情（踏切廃止の撤回を求める）は、市議会都市建設委員会で「不採択」
R5.4.11(火)	非常停止ボタン支柱の嵩下げ施工
R5.4.17(月)	非常停止ボタン足元を整備
R5.5.16(火)	踏切の大網街道側の砂利道を暫定舗装
R5.7.28(金)	地元の方が市へ「土気踏切の存続についての要望書」を提出
R5.11.14(火) ～12.19(火)	地元相談会開催
R6.3.16(土) ～3.27(水)	土気踏切の方針に関する説明会

■これまでの経緯（振り返り） （勉強会の開催状況）

日時	内容	参加者数
第1回 令和4年6月2日(木) 19:00～20:30	設立趣意の確認	自治会・地区連 計14名
第2回 6月18日(土) 10:00～10:40	踏切現地診断、特設看板設置位置	自治会・地区連 計13名
第3回 6月28日(火) 19:00～20:30	踏切現地診断結果報告、事故事例、踏切課題 利用実態調査方法	自治会・地区連 計12名
第4回 7月14日(木) 19:00～20:30	迂回距離の比較を提示 大網街道（大網側）動画視聴	自治会・地区連 計10名
9月1日(木) 10:00～	大網街道の合同現地調査	市：2名 地元：1名
第5回 9月13日(火) 19:00～20:30	踏切利用実態調査について説明 千葉大網線（公民館側）動画視聴	自治会・地区連 計9名
12月1日(木) 10:00～	土気町47号線（寿橋通り）の合同現地調査	市：2名 地元：2名
第6回 12月20日(火) 17:00～18:30	踏切利用実態調査結果の報告 土気町47号線動画視聴	自治会・地区連 計8名
令和5年2月16日(木) 10:00～11:25	非常ボタン押下訓練	計14名参加 （大人12名、子供2名）
2月18日(土) 10:00～11:25	非常ボタン押下訓練	計33名参加 （大人22名、子供11名）
第7回 2月28日(火) 17:00～18:30	非常ボタン押下訓練結果の報告 周辺道路の課題とりまとめ結果の報告	自治会 計8名
第8回 4月18日(火) 17:00～18:30	第7回勉強会までの振り返り 非常停止ボタン訓練時に頂いたご意見の対応 ＪＲ・市の対策方針案、今後の進め方について	自治会 計11名
第9回 令和6年1月31日(水) 17:00～20:00	地元相談会の開催報告 ＪＲ・市の対策方針、今後の進め方について	自治会 計8名
第10回 令和6年2月24日(土) 13:00～ 15:00	第9回勉強会資料の修正について	自治会 計10名
第11回 令和6年8月8日(木) 18:00～ 19:00(予定)	土気踏切周辺道路の整備検討の進捗や 踏切存続期間中の安全対策等	自治会 計 名

①R6. 3説明会での質問回答

	ご質問	回答	回答者
01.	法指定については、鉄道事業者や道路管理者が地域特有の課題があることを国へ報告し、国が法指定を行い、対策を実施することも可能であるようだが、土気踏切は法指定しないのか。	法指定の有無に関わらず、鉄道事業者と道路管理者の対応方針に相違がなければ、特段、法指定する必要は無いと考えます。	JR市
02.	踏切が危険なのはわかるが、踏切は私たちの生活道路である。踏切を無くす代わりに、立体施設を作るなど、ほかの方法で通れるように出来ないのか。	車両を通行させる橋梁、歩行者用の歩道橋のほか、地下道については、踏切の交通状況や迂回路などの周辺状況を考慮し、判断することとしており、土気踏切では橋梁や歩道橋を設置しません。	市
03.	3月15日の報道によると、市長は、京葉線について「ダイヤ改正は唐突で極端。市民生活や経済活動を考慮してない。」とJRを批判するコメントを発言しているが、土気踏切の廃止方針は、市民生活に配慮しなくてよいのか。	頂いたご意見は理解しますが、土気踏切は、構造上に課題があり、今後も危険な状況が解消されないため、JRの廃止方針に同意しております。	市
04.	そもそも、令和4年4月の廃止説明会を開催したことが根本的に間違っていたのではないかと。やはり、地元の声をきちんと聴いてから、存廃の有無を決めるべきだったのではないかと。	事前に町内会長には説明会のご案内をしていましたが、周知期間が短く、結果として地域の皆さま全員に十分な告知ができていなかったというご指摘については、真摯に受け止めております。そのため、廃止は一旦延期し、これまで勉強会や相談会で皆様と意見交換を重ねてきたところです。	JR市

①R6. 3説明会での質問回答

	ご質問	回答	回答者
05.	やはり道路拡幅出来てから踏切廃止するべきと思う。 短期的整備では、歩道が狭いまである。	踏切事故を少しでも減らすため、早期に廃止を行いたいと考えてましたが、大網街道などの周辺道路を改善させ、利便性、安全性が今より良くなったことを確認した上で、廃止することが最善であると考えました。そのため、短期的整備をもって廃止します。 並行して進めていく道路拡幅整備により用地取得が出来た箇所は、短期的整備に合わせて拡幅していきます。現状よりも通やすくなるよう整備を行って参ります。	市
後ほど詳細について、ご説明いたします。			
06.	参加者みんなが廃止に反対してるのに、方針が覆ることはないのか。	方針は変わりません。	JR市
07.	道路整備の事業計画はいつ示されるのか。	令和6年度から設計に着手しますので、設計完了予定の令和7年3月以降にお示しする予定です。	市
08.	土気踏切が危険というならば、踏切廃止までの利用できる間、踏切自体の安全対策を行うべきではないか。事故防止の安全対策が不十分だ。 踏切内で左右のレール高が同じだから、踏切に起伏が生じている。下り線側のレール高を嵩上げすれば、片勾配となり起伏は無くなると思うが、レールの付け替えが出来ないのか。	レールの取り換え範囲が大規模となるため、実施は出来ません。 踏切廃止までの存続期間中の安全対策について、あらためて社内で検討し、次回の勉強会でお示しいたします。具体的な対策内容は、踏切横断者に対する注意喚起看板の設置、踏切内の木造敷板のコンクリート版化、未舗装部分のアスファルト舗装を考えております。	JR
後ほど詳細について、ご説明いたします。			

①R6. 3説明会での質問回答

	ご質問	回答	回答者
09.	AI技術が進んでいるのだから人感センサー等を使い、運転士が踏切手前で停止できるような対策が出来ると思うが。	弊社にて導入している障害物検知装置は、自動車以上の大きさの物体を検知対象とし、設置基準や装置の仕様を定めております。そのため、土気踏切への設置は考えておりません。	JR
10.	廃止に関する協議は文書で取り交わしているのか。あるなら、どのような内容か提示してほしい。	令和3年11月11日付けJRから市へ「踏切道の廃止について」協議文書を提出しており、11月16日付け市からJRへ「踏切道の廃止など安全対策の実施に取り組んでいく旨」回答文書を提出している。	市
11.	土気踏切の廃止についても、ウェブアンケートを取られるべきではないか。設問としては、以下の4つ。 1 土気踏切の廃止を知っているか。 2 土気踏切を利用してるかどうか。 3 土気踏切を廃止すべきと考えるかどうか。 4 土気踏切を廃止した場合に、現在の利用者は4～50mぐらい大回りしないと線路を横断できないけどどうか。 現在の土気踏切の近くに横断歩道橋等を作ってですね、利用者の利便性が大幅に低下しないようにすべきと考える。	自治会毎の相談会や、Youtubeによる説明を行う等、様々な方法で皆様のご意見を広く伺うことができるよう努めてきたところであり、アンケートの実施は考えておりません。	市

①R6. 3説明会での質問回答

	ご質問	回答	回答者
12.	市は、我々住民に寄り添う必要があると思うが、なぜ、この踏切廃止については、JRと一緒に、地元の廃止反対の意見を聞き入れないのか。	市は、何よりも安全第一が重要と考えております。 市が市民の皆様の安全を考えているからこそ、JRの廃止方針に同意していることをご理解ください。 道路管理者として出来ることは、踏切廃止とは別に、土気地区の道路環境を良くすることと考えております。 短期的整備により一定の安全性を確保できるまでは踏切をこのまま存続しますが、整備の完了時期に合わせて踏切は廃止させていただきたいということが今回の説明内容の主旨となります。今回の方針決定が皆様全員にとって100点ではないと理解しておりますが、方針決定したことをご理解ください。	市
13.	説明会の内容説明は動画でなく、生の声で説明された方が良いのではないか。最近はこのスタイルで説明会しているのか。	説明会を複数回開催させていただく中で、参加された方に同じ情報を正確に伝えられるよう、このような方法を選択していますので、ご理解ください。	市
14.	市が道路整備するための令和6年度予算を教えてください。	予算は、4, 100万円です。 道路設計業務委託や用地測量を予定しております。	市
15.	大網街道の拡幅なんて完成しないと思う。そのうち中止するのではないのか。	後ほど詳細について、ご説明いたします。 市が決定した方針なので、拡幅事業がすべて完成するまで、時間はかかりますが、事業をしっかりと進めて参ります。	市

①R6. 3説明会でのご意見

	御意見
01.	これまで勉強会を10回も行ってきたのに、市は住民の立場に立って、踏切を存続する方法について勉強してきていない。勉強会の立上げ当初から踏切廃止が前提で、相談会も回数重ねただけで、廃止のためのアリバイ作りだと感じる。勉強会立上げ当時、市に対して廃止するための勉強会でずかと聞いたら、そうじゃありませんと答えられたのに、このような結論になって、大変残念だ。
02.	市役所は、すぐにスタッフが変わる。今回の説明会で初めて見る顔がある。今まで、一緒に話を進めてきた人の方がよっぽどやりやすい。こういう問題を抱えていて、市のスタッフが全員変わるなんてのは、なんか意図的なものを感じる。反対意見を強く言っている人のことをあまり知らない方が廃止がしやすいという風に捉えられても仕方ないことだ。
03.	令和4年5月の廃止を撤回した経緯は、利用者の1人が動き、それに賛同する人たちが何人が動いて、1週間余りで、200筆以上の署名を集め、市に交渉したことで、市民の声がやっと届いて、とりあえず5月の廃止は撤回しようってことになった。 その後、踏切を利用する人たちが、朝の5時から、夕方まで何回も立って、利用する人たちの話を聞いて、署名を集めて、何回も市と交渉してきた。その交渉してた課長や係長がみんないなくなってる。市長や建設局長などから、廃止してこいと言われ経緯も分からないスタッフが、住民を説得しに来ているに過ぎないという風に見える。
04.	踏切が危険だと言いながら、未だに踏切の安全対策がされていない。言っていることが矛盾している。
05.	JRは利益しか考えていない。踏切廃止もコストカットのためと感じる。

①R6. 3説明会でのご意見

	御意見
06.	2.5メートルの歩幅幅で整備することは大賛成。
07.	事故が起こる前から、JRに対して、拡幅や安全対策の要望を行ってきたが、受付けてくれなかった。それで、死亡事故が起こって、危ないから廃止すると説明があった。事故前から危ない踏切と分かっていたなら、もっと早く対策すべきだったのではないか。JRはやはり利益しか考えていないとしか感じない。
08.	外房線の岩下踏切、高津戸踏切、土気踏切を目視してきたが、踏板が直されていないのは、土気踏切だけだった。危険な踏切なら踏板を直すようお願いしたい。
09.	JRが民営化になる前の国鉄時代に、線路が複線化された。複線化するための線路を整備する際に、JRが用地買収する際、地主の方は、土気踏切を通すという約束のもとに 買収に応じたと聞いている。それなのに、廃止というのは約束を破ることになると思う。
10.	中央区や美浜区ばかりに莫大な予算を投じているが、そういうお金があるなら、危険と認識されている土気踏切に予算を投じるべきだ。
11.	土気町は過疎地とされているのかわからないが、これまで市から恩恵を受けられなかった。今回、大網街道を整備してもらえることは大変喜ばしい。

①R6. 3説明会でのご意見

	御意見
12.	短期的整備ではなく、道路拡幅が全部完了するまで、踏切は閉じてほしくない。
13.	短期的整備がすごい時間かかるのと説明だが、整備するまでの間にAI技術がもっと発達して、踏切の安全性が確保できるようになると思う。そうすれば、土気踏切を廃止しなく済むと思う。
14.	存続してほしい理由は以下のとおり。 1 踏切に近い周辺の住宅がおそらく150戸増える。今3か所で分譲していますが、これが6月あたりに正式な分譲を開始する。それと合わせると大体150世帯。住む人はどういう年齢の人住むか分からない。若い世代の人たちが買うことが予想される。踏切利用者数は少なくはないと思う。今後1年以内に一気に周辺の人口が増える。それに伴って踏切の利用頻度は高くなると思う。 2 買い物利用する人が多くなる。大網街道沿道の土地の空きがある。おそらく商店がいっぱいできることが予想される。昭和の森の道沿いのところはまだ増えると思う。花屋ができ、総菜屋ができる。 3 あすみが丘の人たちとのコミュニケーション。踏切を渡って、とけあい通り付近の旧友へ会いにいっている。

②周辺道路の整備検討の進捗報告

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降
道路の 拡幅整備	現況測量	用地測量			※適宜	勉強会開催
		予備設計	詳細設計			
			用地取得			
				工事		
周辺の 短期的整備		詳細設計			完了目標：R10年度	
			工事			

令和6年度の取り組み状況

○道路の拡幅整備

用地測量（株）ワイアンドケイ企画）

予備設計（京葉シビルエンジニアリング（株）

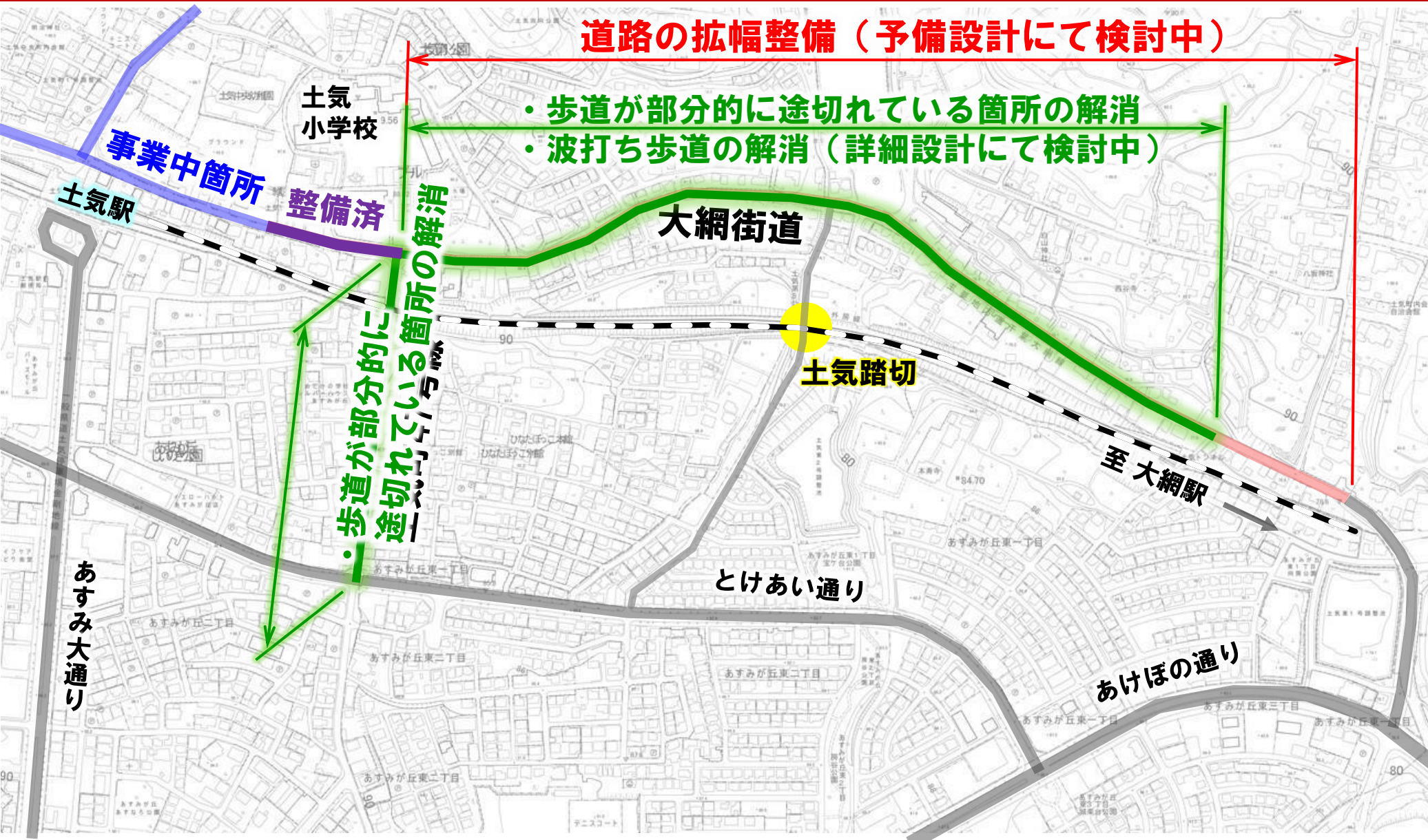
⇒道路計画課にて検討中

○周辺の短期的整備

詳細設計（京葉シビルエンジニアリング（株）

⇒道路建設課にて検討中

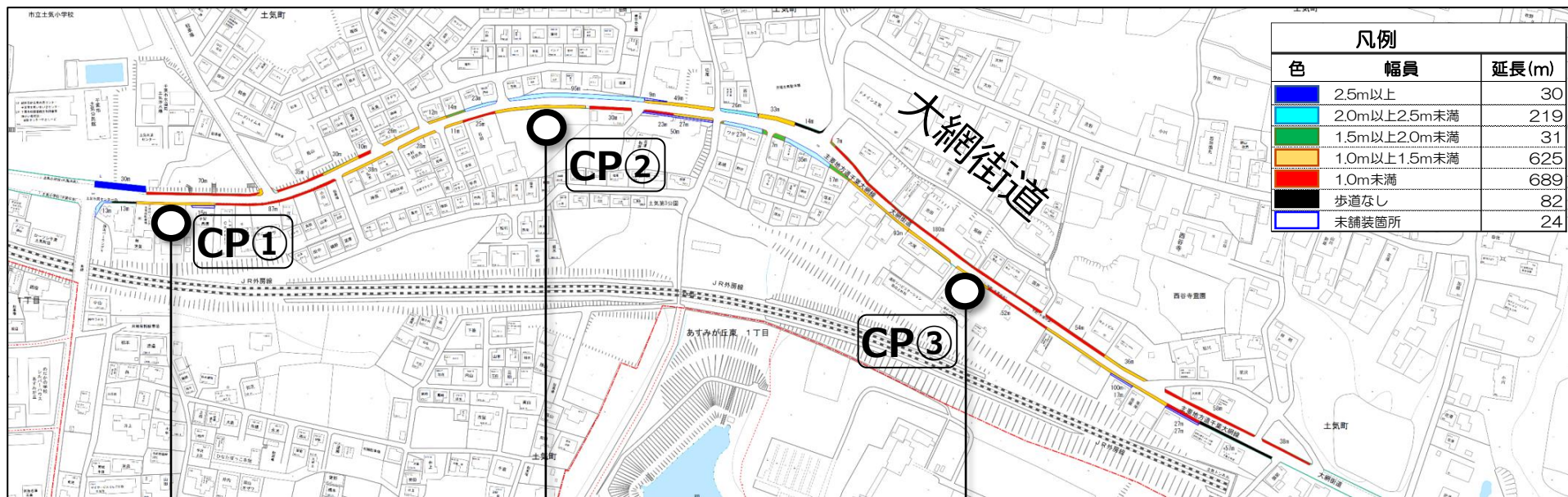
②周辺道路の整備検討の進捗報告



②周辺道路の整備検討の進捗報告

整備方針

- ①基本的に、現道を中心線から両側に同じ幅で拡幅する。
- ②地域の利用状況から移転が困難な施設がある場合、その施設を避ける線形とする。(CP①～③)
- ③道路の左、右側のどちらかで家屋が連担している場合、家屋が少ない側に寄せる線形にする。



コントロールポイント(CP)

これら
3つの施設を
避けて
線形を検討

②周辺道路の整備検討の進捗報告

大網街道

第4種第2級道路
交通量 9,372台/日

道路の計画幅員・・・14.0m

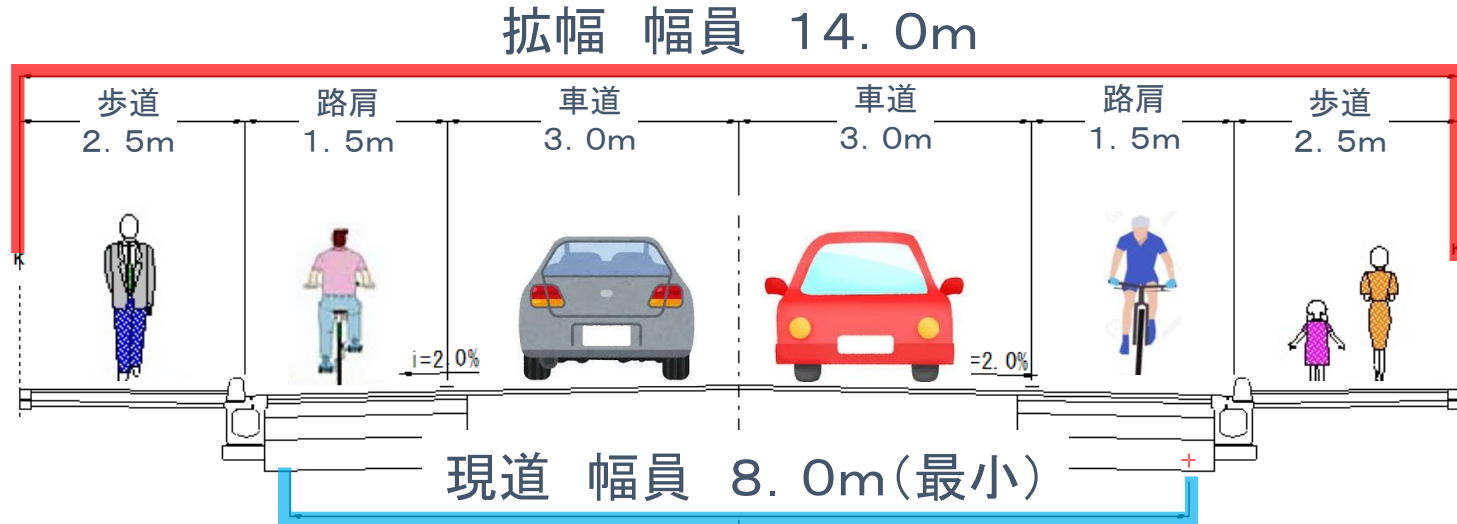
車道3m×2車線+自転車通行幅1.5m×両側+歩道2.5m×両側

道路の現況幅員(場所によって異なる)・・・6.5m程度+歩道幅
車道2.75m×2車線+路肩0.5m×両側、
歩道は無い箇所あり。側溝幅しかない箇所も点在



②周辺道路の整備検討の進捗報告

大網街道



完成イメージ（大網街道は街路植なし）



③踏切存続期間中の安全対策（JR）

- 踏切横断者に対する注意喚起看板の設置

⇒手配中
近日設置予定

踏切注意柵に取付



- 踏切内の木造敷板のコンクリート版化

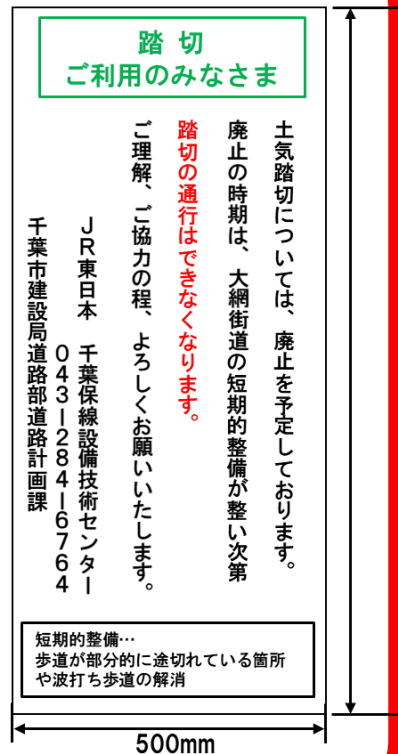
⇒施工に向け調整中



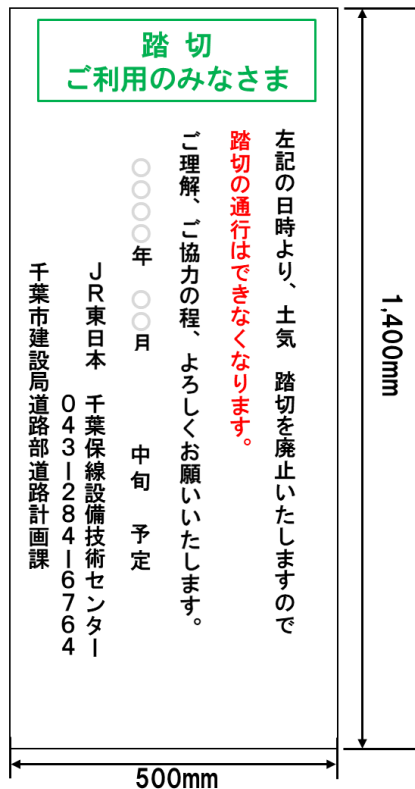
③踏切存続期間中の安全対策（JR）

<今回設置内容>

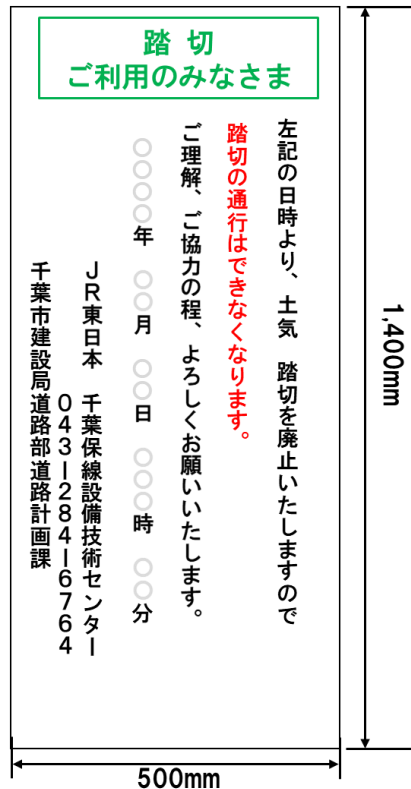
廃止お知らせ看板（案）



廃止予告看板（工事計画時）



廃止予告看板（工事直前）



○廃止お知らせ看板（案）

本日の勉強会以降、設置予定です。

直近の死亡事故について

事故概況

2024年7月12日午後5時半ごろ、ＪＲ外房線 土気～大網間で踏切に入った１人が、千葉発一ノ宮行きの下り電車にはねられ死亡した。

下りていた遮断器の下をくぐって踏切内に入ったとみられている。運転士は踏切に入る人影を見つけブレーキをかけたが間に合わなかった。

上下線で一時運転を見合わせ、午後７時ごろに運転を再開した。

土気踏切にてまた尊い命が失われています。

④今後の進め方（勉強会のあり方）

●今後の勉強会について

- ・ＪＲは踏切存続期間中の安全対策を予定どおり実施。
- ・千葉市による道路の短期的整備完了により土気踏切は廃止。
- ・今後は短期的整備と道路の拡幅整備の議論にシフトしていくため、

次回以降は千葉市単独での勉強会としてセットしたい。

※ＪＲは必要に応じて参加するものとしたい。

- ### ●勉強会は主に道路整備の進捗の共有等を目的とした内容で今後も開催を予定していきたい。

土気踏切の廃止時期について

土気踏切の廃止時期

	R 6年度～
道路の拡幅整備	
短期的整備	
踏切廃止	 踏切廃止は、短期的整備の完了時期
踏切の安全対策	

周辺道路の整備

- ・ 道路の拡幅整備
 - ・・・ 道路拡幅による2.5m程度の歩道の整備等
- ・ 短期的整備
 - ・・・ 歩道が部分的に途切れている箇所
波打ち歩道 } の解消

本日はありがとうございました。

土気踏切や大網街道などの周辺道路について
多くのご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。

踏切存続期間中の安全対策（JR）

○勉強会で頂いた意見を踏まえ、廃止お知らせ看板の文言を修正しております。

廃止お知らせ看板（案）

